和而不同

「響（ひび）く言葉」というものがある。これは、他人事ではなく《わたしごと》として聞こえてくるかどうかが、その基準だ▼例えば、ショッピングモールの店内アナウンスー「お車のナンバー大阪○○○-●-○○-○○にお乗りのお客さま、駐車場にてお車のハザードランプが点いております。至急お車までお戻りください」ーピンポイントな《わたしごと》だ。放送が聞こえたら「バッテリーがあがったら嫌だから」と駐車場に戻りランプを消すだろう▼例えば、通販番組ー「最近、階段の上り下りで両ヒザが辛い」「椅子から立ち上がるのも一苦労」「そんなあなたにオススメ～」ーこちらは駐車場の例えに比べて〝対象範囲が広い〟《わたしごと》だ。「あ～そうそう」と他の誰か（インタビューを受けるご愛用者様であれ、近所の知り合いであれ）と悩みを共有できる点で、その響きに拍車がかかる▼無論、これらはそもそも電車で来た人（またナンバーが違う人）やヒザが辛くない人にとっては同じ言葉でも「響かない言葉」になる▼昼夜を問わず無作為にかけられてくる営業電話・おせっかいなオススメトーク・「国民の皆様～」という実体のない誰かへの呼びかけ・・ここに聞き手側の《わたしごと》は考慮されていない▼自らの都合だけを優先するところから放たれる言葉からは、人に届く音色は聞こえてこない。さあ私はどうか。

〔徳〕